

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2019 - 20

- 1 ガバナーメッセージ
- 2 ガバナー月信の電子化に関するアンケート調査報告書
- 8 研修会・会議・委員会報告
- 11 義援金（支援金）に関する報告と御礼
- 12 例会出席報告・ハイライトよねやま
- 13 3・4月行事予定・R財団・R米山記念奨学会寄付者、
会員異動

水と衛生月間



2019-2020 年度ガバナー
松本耕作



「木場瀨からみる白山」 © 石川県観光連盟

3月は「水と衛生月間」ということで、2月6・7日にタイのナコンシータマラート県を訪問し、金沢RC、金沢香林坊RC、タイ・ボンサデットナコンシーRC、タイ・シチョンナコンシーRCによる5つの学校への浄水器設置事業の紹介と報告をさせていただきたいと思っております。この事業は今月の「ロータリーの友」の「ロータリーモーメント」にも掲載されておりますが、金沢RCでお世話した米山奨学生テムラック・チャオさんとのご縁で第1回目が2016年に実施された第3回目の事業です。グローバル補助金では「持続可能性」を求められ、設置後の管理に関しても現地ロータリークラブが関与することが必要です。しかしながら10個を超える学校の浄水器のフィルター交換などの管理をすることはクラブの負担にならないか？などの課題も抱えており、当初から3回×5か所ですぐ一旦再検討をするとの話で進めておりました。今回は現地の協力クラブとしてシチョンナコンシーRCが参加し、一方で金沢香林坊RCによるグローバル補助金の勉強も兼ねた参加で、混成チームによる編成となりました。このナコンシー地域でさらに浄水器のニーズがあり、現地で管理ができるクラブが確認できれば更に事業として続くことはできますが、ロータリー財団本部も、この程度であれば地区補助金を使用し、グローバル補助金はもっと規模の大きな事業に使用する方向性を打ち出しており、今後の展開もなかなか難しいところです。

浄水器設置事業は、地域の学校において飲み水としては不適な水を浄化し、生徒と教員は無料で、外部の方には5バツ（10数円）でペットボトル1本か缶20Lで販売し、その収益でフィルターの交換など管理にかかる費用を捻出します。今回は今まで普段は飲料水を購入していた学校のPTAの方からの強い要望があったと聞いています。生徒が校門から並んで「ようこそ」と旗を振っている姿、帰りは校門まで見送る姿、いずれも笑顔に満ち溢れています。「よいことをしたなあ」という実感と同時に、ところで排水はどうなるの？垂れ流し？このあたりも今後調査研究が必要かもしれません。ご興味のある方はご連絡下さい。

さて、先日行いました月信の電子化に伴う意識調査の結果を月信と一緒に配信いたします。回答をいただいたのは1483名（55%）「そのうちの約45%、700名弱が月信をほとんど読まない方」という結果に驚きました。また、電子化によってほとんど読まなくなった人（もとより読まない人は除く）、かつ、コストを負担してでも以前の紙ベースに戻してほしいと希望する回答者は33名でした。クラブによってもまちまちで、電子化の可否以前に月信をもっと読んでいただくための工夫や対応が必要と感じました。



国際ロータリー第2610地区
2019～2020 ガバナー事務所

2019-20 Governor 松本耕作

〒920-0025 金沢 本町1丁目6番20号

シャインシティII 101号室

TEL 076-256-0918 FAX 076-256-0920

E-mail matsumoto2019-20@rotary2610.gr.jp

ガバナー月信の 電子化に関する アンケート調査 報告書



RID2610ガバナー：松本耕作
2020年2月9日

調査に至る経緯と目的



国際ロータリー2610地区会員の皆様、ご承知の通り本年度より「ガバナー月信の電子化による配信」を実施しております。

これは、昨年ガバナーエレクト時に基本方針として表明させていただき「いろいろ課題があるのではないか」との諮問委員会での指摘を受けましたが「とりあえず1年実施させていただきます。

検証すべきものは検証いたします」とのことで実施した経緯がございます。

去る11月3日に開催されました諮問委員会におきまして「やはり都合が悪いのでは？」とのご意見を賜り、次年度八塚年度の方針、あるいは予算の策定にも大きく影響いたしますところから、今回のアンケート実施ということになりました。

<ガバナー月信電子化の理由>



1. 情報を提供することでは、紙ベースであろうが電子的方法であろうが基本的に変わりはない。しかしページ建てや印刷にかかる時間を考慮すれば、前々月（今月11月であれば9月）の情報が限界であり新鮮味に欠けることも多い。
2. 記録という観点からの月信の役割を考えると、地区のHPにも収録されており、紙ベースとの差異は認められない。
3. コストという観点では、編集にかかる費用は同じ、印刷とクラブへの配送費を電子化によって節約できる反面、コンピューターの操作に慣れていない方にとってみるとプリントアウトする費用が会員、あるいはクラブに発生する。「月信費1,000円を削減し、必要とされる他の科目に振替えたのは呈の良い人頭分担金の値上げだ」と言われればその通りである。しかし将来にわたって必要とされるもの、節約可能であるものを吟味して予算の策定を行っている。ガバナー月信の電子化による配信は、会員全員が対応可能になって始めるのでは今から10年以上もかかるかもしれない。対応不可能な方を切り捨てるつもりはなく、例会において何部かプリントアウトをしたもの閲覧、あるいは必要な方は配布することによって十分対応とできるものと考え、その方法はクラブの状況によって考えていただくことでご理解・対応してはいただけないか。
4. 一方1,000円程度で印刷配送が可能であれば元に戻してはとのご意見もあるが、メールで十分な方にとっては紙ベースの資料は不要であり、1,000円の追加負担も削減できるものであれば削減してほしいとの意見もある。

調査概要

実施方法

各クラブへアンケート用紙を配布し
記述式にて実施

アンケート調査期間

2019年11月29日～2019年12月16日

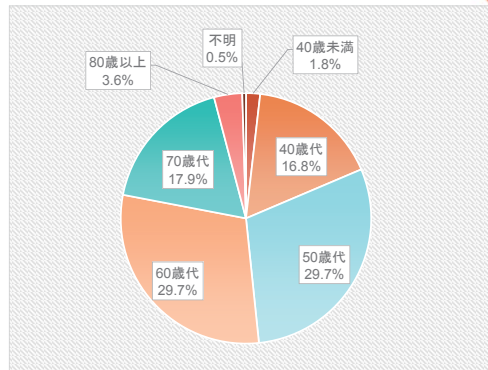
サンプル数

回答数1,483人/会員数2,685人
(2019年11月)
回答率55.2%

調査項目

質問項目	内容
年齢	40歳未満、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上で分類
閲読状況	・必ず読んでいる ・時々読んでいる ・ほとんど読まないで分類
電子化による閲読状況の変化	・よく読むようになった ・あまりよまなくなった ・以前と変わらないで分類
利便性の変化	・便利になった ・改善が必要である ・以前と変わらないで分類
改善の要望	・電子化と合わせて例会時などで読める印刷された月信があればよい ・電子化されたファイル形式がPDFだけでなく他の形式があればよい ・地区ホームページだけでなくクラブのホームページに掲載してほしい ・必要なコストを負担するので電子化を廃止して以前に戻してほしい ・その他で分類
意見 要望など	自由回答

回答者の年齢

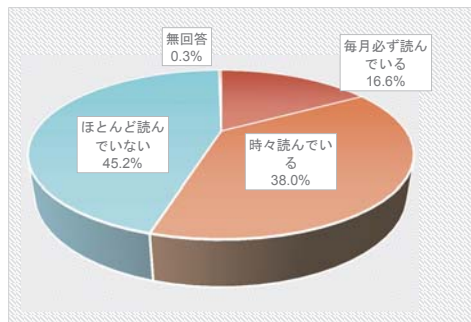


年代	回答数
40歳未満	27
40歳代	249
50歳代	441
60歳代	440
70歳代	265
80歳以上	54
不明	7
総計	1,483

地区会員数2,685人中1,483人の回答が得られた。
回答者のうち50歳代、60歳代がそれぞれ3割近くを占め、続いて70歳代、40歳代、80歳代、40歳未満となっている。

閲読状況（全体）

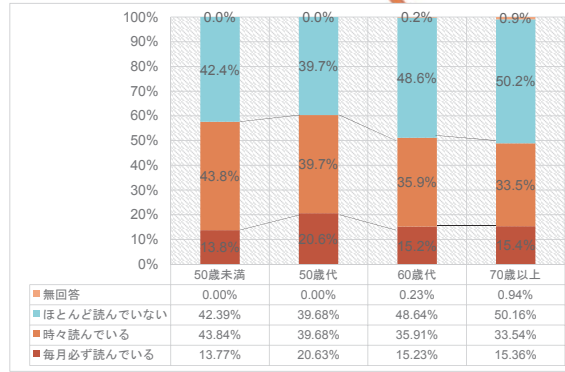
設問：ガバナー月信を読んでいますか？



回答内容	回答数
毎月必ず読んでいる	246
時々読んでいる	563
ほとんど読んでいない	670
無回答	4
総計	1,483

毎月必ず読んでいる会員が16.6%いる一方、ほとんど読まない会員が全体の45%を占めている。

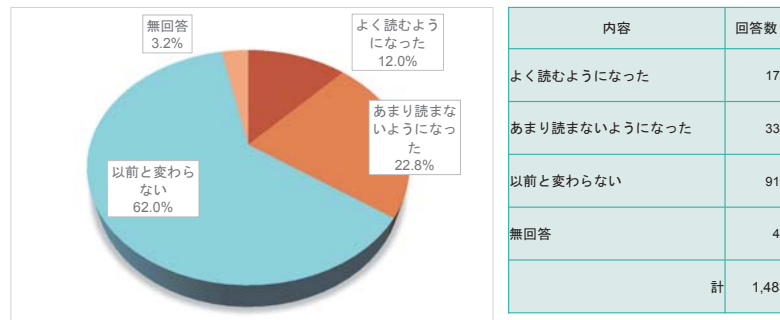
閲読状況（年代別）



閲読状況を年代別に見てみると、60歳未満では「ほとんど読まない」が約4割に対して60歳以上では約10ポイントスコアが上がり、半数となっている。
傾向としては年齢が上がるにつれて読まれなくなっている傾向が見取れる。

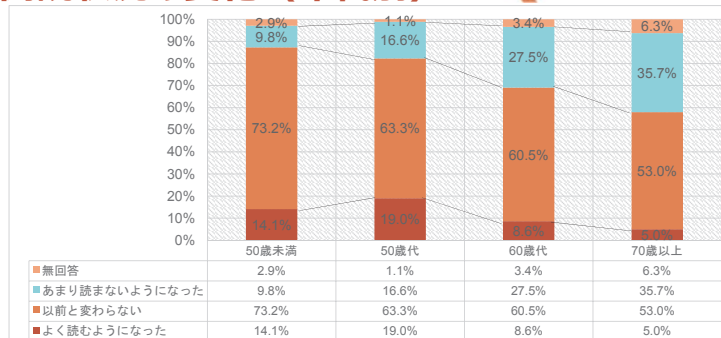
電子化による 閲読状況の変化（全体）

設問：電子化されたガバナー月信は電子化される前と比較して



電子化の前と後で6割超が「以前と変わらない」と回答している。「よく読むようになった」が12%あり、以前読んでいなかった層、閲読頻度が低かった層に対して一定の効果があったと推察できる。一方閲読頻度が減った回答も約22%あり、その理由の精査と対策が必要と思われる。

電子化による 閲読状況の変化（年代別）



年代が進むにつれ「あまり読まなくなった」という回答が増加している。60歳以上では27%以上、70歳以上では35%以上となり電子化による影響が大きいようである。一方、60歳未満の層では「よく読むようになった」のスコアが「あまり読まなくなった」を上回った。

電子化によって ほとんど読まなくなった会員

全体の1割強が電子化によってほとんど読まなくなったと推察される

回答数	構成比
192	13.4%

※「ほとんど読んでない」と回答した人の中で
閲読頻度が「以前と比べて読まなくなった」と回答した人数

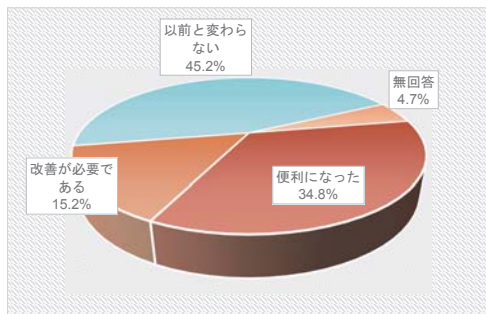
3割が印刷、電子化にかかわらずほとんど読んでいない

回答数	構成比
432	30.2%

※「ほとんど読んでない」と回答した人の中で閲読頻度が
「以前と変わらない」と回答した人数

利便性の変化（全体）

設問：電子化されたガバナー月信の利便性についてのお伺い
ガバナー月信が電子化されて

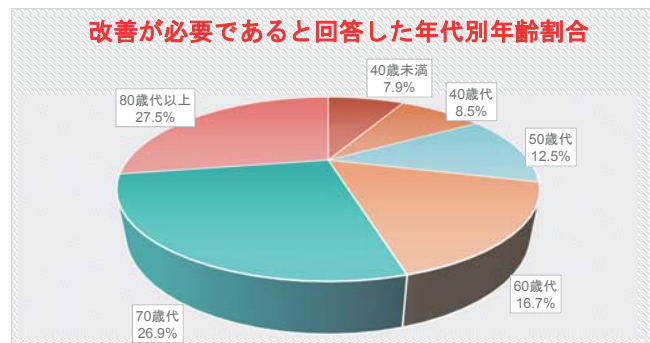


回答内容	回答数
便利になった	516
改善が必要である	226
以前と変わらない	671
無回答	70
計	1,483

電子化されて「便利になった」の回答が約35%にのぼり、利便性の向上を感じている会員が多くいることがわかった。
一方、改善の必要性を感じている会員も約15%あった。

利便性の変化（個別）

改善が必要であると回答した年代別年齢割合



各年代の中で「改善が必要である」と回答した会員の割合は
年齢層の上昇に比例している。

改善の要望の内容

設問：どのような改善が必要であると思いますか？
(前設問で改善が必要と回答した人のみ)

内容	回答数	構成比	全回答者 (1436人) 中の構成比
電子化と合わせて例会時などで読める印刷された月信があればよい	114	50.4%	7.7%
必要なコストを負担するので電子化を廃止して以前に戻してほしい	57	25.2%	3.8%
地区ホームページだけでなくクラブのホームページに掲出してほしい	21	9.3%	1.4%
電子化されたファイル形式がPDFだけでなく他の形式があればよい	17	7.5%	1.1%
その他	10	4.4%	0.7%
無回答	7	3.1%	0.5%
計	226	100.0%	15.2%

「以前と比べて読まなくなった」

338名のうち

「改善の必要がある」と回答した方の自由回答

- ・電子化の理由はともあれ、読む人が減っては意味がないと思う
- ・A 4 1 頁ぐらいの要約版（必ず全会員に読ませる必要のある内容）と、あとは電子版の要約のみ。各クラブの負担が小さい
- ・電子化されて読むのをやめた。月信の意義を考えれば？
- ・以前は第 1 例会に配布されていたが、電子化後、最近は配信が遅くなった
- ・今の時代、ペーパーレスは必要だと思います。しかしながら毎月印刷物として必然的に手元があれば目を通す事にもなり嫌が央でも意識する結果となります。従って、以前のように紙で手元に来る方が良い
- ・手元があれば都合よい時もある
- ・老若が併用折衷案で運用していただければありがたいと思います
- ・強制的に送信されるようになれば読むと思います
- ・電子化は見ることはない
- ・以前のように印刷物のほうが良い
- ・前の方が良い。事務局に 1 冊あれば会員が来た時によめるので良いと思います
- ・電子化された書類を読む習慣がない為、習慣化したい
- ・電子化には対応出来ていない

「以前と比べて読まなくなった」

338名のうち

「改善の必要がある」と回答した方の自由回答

- ・電子化によって個人の負担は多くなった。よって、以前の印刷の方が良い。追加負担（地区の費用）があっても元にもどすべきである
- ・以前も電子化したが、次年度は再び紙にもどった時期もあった。次年度のガバナナーが電子化に苦手な人物を希望します
- ・時期が早い感じもあるが、将来的には必要だと思います。しかし、確実に伝えるためには会員全員のメーリングリストを作り、それに転送するなどの事前処置が必要ではないでしょうか。
- ・電子化された月信が見られない方もいる（高齢者の為）やはり紙も必要では？電子化は必要と思うが！これからの時代...
- ・時代背景から考えると電子化も仕方ないと思われませんが、会員が読んでこそ価値の上がるものと考えます
- ・地区の活動を知る機会が少なくなったような気がするので、元どおりのほうが良かった気がします。
- ・モノクロでもいいので冊子が好ましい。手にとらないと、ほとんど読まない。
- ・ペーパーで頂いていた時は、確実に読んでいたが電子化になったら「メンドウ」と云う事で観なくなった。ペーパーはいつも手元に有るので

まとめ

今回の調査でガバナー月信の閲読状況がある程度明らかになりました。

閲読状況に関しては必ず読んでいる割合が一定数（16.6%）ある一方、印刷配布、電子化配布にかかわらずほとんど読まない割合が3割を超えています。

電子化によって少なからず閲読状況が変化すると推察される事象も見受けられます。

「以前と比べて読むようになった」12%や「便利になった」34.8%など良い影響も出ています。反面、「ほとんど読まなくなった」会員も約13%という結果となり、ある程度予測はできたものの高齢になるほどその割合が増えています。

ガバナー月信の電子化はユーザー環境がインターネット接続、PCまたはスマートフォン、タブレット端末の所持を前提にしているため、それらの環境を整備されていない会員においては利便性の低下を招いていると推察されます。（※P18 資料参照）

自由回答の意見を見てみると電子化に肯定的な意見と否定的な意見が数の上で拮抗しています。さらに内容に目を通すと印刷された月信を求める声も多く、例会時に印刷して対応していないクラブが一定数あるものと思われる。

また、電子化されたことを知らない会員の声もあり周知が十分でない可能性も否定できません。ガバナー事務所から配信された月信を会員に送っていないクラブもあるのかもしれませんが。（ガバナー事務所から各クラブに送信しておりますが、クラブ事務局と会員の間はどのようにしているのか？普段からメールで情報を送信しているかどうか？クラブに送られてメールを会員に一斉送信すれば問題ないと思われます。）

「必要なコストを負担するので、以前に戻してほしい」との回答も一定数ありました。しかし全回答者の中では僅か3.8%でごく少数意見でもあります。

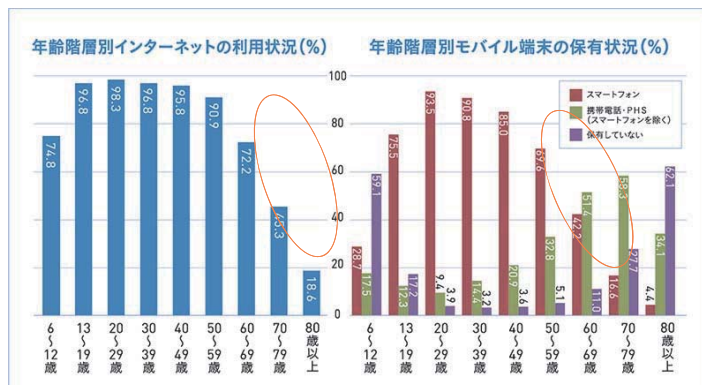
クラブによって意見が大きく偏っているケースも見られます。これも其々のクラブでの情報発信や通信手段の違いも影響しているかもしれません。

今回の調査の結果から

- 月信の電子化は速達性、情報量の柔軟性、利便性の観点からもこのまま継続をする。
- 今一度各クラブから月信の配信方法や閲覧方法を周知徹底していただく。
- 地区ホームページに月信が掲載されていることもお知らせ頂く。
- 可能であれば各クラブのHPに月信を掲出することを推奨する。
- デジタル・ディバイド（情報格差）の是正の視点からも環境が整っていないクラブや会員にたいしては例会時にテーブル毎にプリントされたものをご用意いただくことを願います。
- 有料個別配布については各クラブで協議して対応していただく。

引き続きご協力をお願いいたします。

※参考資料



第3回地区職業奉仕委員会・第2回クラブ職業奉仕委員長会議

『刀根莊兵衛氏による職業奉仕セミナー 職業奉仕の現状と未来』

1月19日(日) 富山電気ビルにて、講師に刀根莊兵衛バスターガバナー(敦賀RC)をお招きし、第2回職業奉仕研究会セミナーを開催いたしました。これは第2回職業奉仕委員長会議とし、地区ロータリー会員の多くの方々にも参加頂き、110名余りのセミナーとなりました。演題は「職業奉仕の現状と未来」でした。

セミナーはパワーポイントで200ページに及ぶ内容の濃い講演でした。(地区ホームページよりダウンロード可) 現在、日本のロータリアンと世界のロータリアンの職業奉仕感に大きな隔りがあります。なぜこの様になったのかをロータリーの職業奉仕の歴史を遡り、その理由についてわかりやすい解説をして頂き、参加された会員の多くの方々も理

解できたと思います。1905年に互惠クラブとしてできたロータリークラブに道徳律が入り、5大奉仕が生まれます。しかしその一つである職業奉仕が衰退していき、40年間RIから職業奉仕委員会がなくなります。ところが1987年に職業奉仕に関する声明が制定されますが、この時点で職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員の責務となり、クラブとしての責務が追加されました。自己の職業のスキルを生かしたプロジェクトの開発をする事を奨励する事になりました。それまでの職業倫理だけではなく、対外活動が加わった事になります。日本のロータリアンは職業奉仕を倫理道徳向上としているのに対して、世界のロータリアンは倫理向上と職業ボランティアと考

えている様です。刀根さんの提案は、職業倫理感を職業奉仕という言葉として使用するのをやめたらどうか?そして日本のロータリアンから21世紀の新しい職業論を世界標準の言葉で、戦略計画に反映できるように提言する事が必要であるとの事でした。そしてRIにクラブから提案し続けるのが一番大切であるという事でセミナーは終了いたしました。

現在地区職業奉仕委員会では、各クラブでの勉強会を推進しておりますが、勉強会を通じて、現在起きている問題について検討いただき、RIにどんどん提案して頂きたいと思います。

(職業奉仕委員長 林 清滋)

クラブローターアクト委員長会議

去る1月25日(土)にANAクラウンプラザホテル金沢にて、クラブローターアクト委員会を開催しました。松本ガバナーをはじめ、各クラブローターアクト委員の皆様と地区ローターアクト委員会メンバーで、ローターアクトの危機管理体制について協議いたしました。

「社会的責任」と「高い道徳性」。この二つが、ロータリークラブに常日頃求められているものです。故に、青少年と共に活動するときなどは、安全な環境作り、そしてそれを維持していくことが必要となります。そのためには、平時にしっかりと「危機管理マニュアル」を作成し、そしてそれを運用していく体制を構築しなければなりません。昨今は、日本国内だけでなく、世界各国でも自然災害等が多発しています。それだけでなく、

多岐にわたったハラスメント問題等など、社会的問題においても危機意識が非常に高まっております。

幸いにも、今はまだ各ローターアクト内で大きな事故、事案は発生しておりません。しかしながら、一度このような問題や事故が起きてしまうと、ローターアクトクラブ、スポンサーロータリークラブの存続さえ危ぶまれてしまう恐れがあります。だからこそ、平時よりありとあらゆる側面から、考えられるリスクを洗い出し、リスクマネジメント体制を構築して、事故が起きたときは損害や被害を最小限に抑えることが大切になってきます。

今回の委員会では、このような現状を踏まえ、各クラブの委員会の皆様から活発な意見を頂戴することができました。その結果、松本ガバナーからは、委員会

として高い危機管理意識を有していくこと、そして、危機管理委員会が独自で「2610地区危機管理マニュアル」を策定していく運びとなりました。私たちローターアクト委員会も、2610地区のローターアクトが健全・安全に活動できるよう支援していく所存であると同時に、一日も早いマニュアルの完成を願うばかりです。

(ローターアクト委員長 高野 純平)



国際ロータリー第2610地区財団委員会 補助金管理セミナー開催

1/26(土) 富山県民会館、2/2(土) 石川県地場産業振興センターにて国際ロータリー第2610地区財団委員会補助金管理セミナーを開催させて頂きました。

当地区では各クラブが地区補助金を申請する要件として、

- ①「クラブの覚書 (MOU)」に同意する
- ②地区が設定した「補助金管理セミナー」を受講する

の2つが求められており、その一環として開催させて頂いております。村本副委員長司会のもと、まず私より「ロータリー

財団委員会の活動について」と「ロータリー平和センター」の説明、そして昨年末にパキスタンを視察された松本ガバナーからは「ポリオ根絶の現場を訪ねて」と題してポリオワクチン投与現場での実体験を写真と講話を交えてご説明頂き、ポリオに付いて深く学ぶ機会を頂きました。そして青山副委員長からは「地区補助金申請書・報告書の書き方」と「授与と受託の条件」に付いての説明をして頂きました。

地区補助金はグローバル補助金と比べ

ると地区の裁量に任せられている部分が多く、当委員会としても各クラブの利用を促進する事を目標としております。本補助金にて地域社会への奉仕活動やクラブの活性化に少しでもお役に立てれば甚だ幸いです。2020-21年度の地区補助金申請の期限は4/1(水)迄となっております。多くの地区補助金事業が申請されず事をお願い申し上げ報告と致します。

(ロータリー財団委員長 八木 圭一郎)



第3回 地区財務・監査合同委員会 報告

財務委員長 中野 一輝

第3回 RI2610地区財務・監査合同委員会は、2020年2月9(日)10時より以下のメンバーにて金沢ニューグランドホテルにて開催された。

【出席者】

役職	名前	所属クラブ
地区財務委員長	中野 一輝	金沢
地区財務委員	藤井 均	高岡北
地区財務委員	海下 巧	高岡北
地区財務委員	津田 文雄	七尾

役職	名前	所属クラブ
地区監査委員長	木勢 博文	南砺
地区監査委員	吉田 貴	加賀
地区監査委員	羽柴 俊成	富山

【オブザーバー】

役職	名前	所属クラブ
ガバナーエレクト	八塚 昌俊	高岡北
ガバナーノミニー	神野 正博	七尾

役職	名前	所属クラブ
ガバナーノミニーデジュネート	黒川 伸一	富山南
地区幹事	瀬戸 和夫	金沢
副幹事	米井 裕一	金沢

今回は、松本ガバナーが他の事業と日程が重なり参加されなかつたので、中野財務委員長より開会の挨拶があり、その後 木勢監査委員長より地区大会決算監査報告があった。その中で地区大会予算について、もう少しの節減の工夫が出来るのではないかと提言があった。

次に中野財務委員長より地区財務の現況について1月末までの予算対比表が示され、ここまで運営が順調に推移している事が報告された。

引き続き意見交換に移り、海下次期財務委員長より次期地区財務予算作成についての説明があり八塚ガバナーエレクトからも直接国際協議会でのお話や次期地区運営に関する方針が述べられ、RIが新しい方向へと進んでおり、それにつれて地区ないしは各クラブも一段の対応が求められているとの事であった。

インターアクト オーストラリア研修旅行 第3回事前研修会

2月9日(日)に石川県国際交流センター(リファール)にて、第3回地区インターアクト委員会及び第3回オーストラリア研修旅行事前研修会を開催しました。まず、委員会においては、6名の委員に加え山岸地区副幹事にご出席いただき、今年度オーストラリア研修旅行の実施の可否及び危機管理等について議論しました。その結果、当日の段階では、委員会としては実施する方向で準備することとし、会議後の事前研修会も予定通り行うこととしました。

事前研修会には、研修に参加するインターアクター19人(2人欠席)と保護者、インターアクトクラブの顧問の先生方が集まりました。委員長の開会挨拶の後、寺島副委員長から新型コロナウイルス感染症が国際的な問題になりつつあるが、現段階では今年度の海外研修を実施するつもりで準備を進める旨の説明を行いました。

第一部では、今年度のオーストラリア研修旅行の内容や準備に関する説明が株式会社ヴァケーションの多々見氏(本研修に添乗予定)によって行われました。多々見氏は、2年前の前回オーストラリア研修にも添乗されており、本海外研修の内容・注意事項だけでなく、現地の詳細情報についても説明されました。

第二部では、引率される遊学館高等学校 小坂先生の指導の下、主に現地の学校における出し物の打合せ・準備が行われました。班ごとに準備の度合いは異なりましたが、次回には準備を完了させるという前提で約1時間の班別活動になりました。最後に、今回の研修旅行に同行する才高委員から閉会の挨拶があり、次回の研修予定を確認して2時間余の事前研修会を終了しました。

追伸 この委員会・事前研修会の9日後、新型コロナウイルス感染症の感染状況の

悪化のため、3月のオーストラリア研修を中止することとしました。今後は、この代替となる海外研修の実施可能性について検討していきます。

(インターアクト委員長 加藤 真一)



義援金（支援金）に関する報告と御礼

2019年10月31日に発生した首里城火災に関し、2580地区（東京都北部、沖縄県）に支援金1,517,567円を送金いたしましたことを報告いたします。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、2600地区ならびに2530地区より義援金送金に関するお礼状を頂戴しましたので、ご報告申し上げます。


ガバナー 松本 耕作



焼け焦げた首里城（2020年2月撮影）



城間幹子那覇市長へ目録贈呈

 国際ロータリー 第2600地区	国際ロータリー第2600地区事務所 〒310-0811 松本市中央1-23-1 松本職工会館4F TEL 0263-38-0800 FAX 0263-38-0801 E-mail info@rid2600.jp
2020年1月31日	
国際ロータリー第2610地区 ガバナー 松本 耕作 様	国際ロータリー第2600地区 ガバナー 古川 静男
台風19号災害ご支援の御礼	
<p>謹啓 この度の台風19号災害に際しましては、ご厚情あふれるお見舞いのお言葉をいただいたばかりか義捐金までも頂戴しました事、誠にありがたく衷心より御礼申し上げます。</p> <p>貴地区の皆様から頂戴しました心温まる義捐金は、被災地の皆様の支援として今後熱慮のうえ、有効的に使わせて頂きたいと存じます。</p> <p>先ずは取り急ぎ、下記の義捐金をご送金いただきましたことに深く感謝申し上げます。時節柄、皆様方におかれましてはくれぐれもご自愛ください。</p> <p style="text-align: right;">敬白</p>	
義援金額 金213,275円 2020年1月30日に上記金額を預かりました。	

Rotary International District 2338 2338-28 Yu Hago <small>General Office 4041 Fukuoka City, Chuo-ku, 1-3-30 Higashi-Shinmachi, Fukuoka-shi, Fukuoka Prefecture, 815-0213, JAPAN TEL 092-28-0246 FAX 092-28-0246 E-mail: 02338@rotary.or.jp</small>	国際ロータリー 第2530地区 2019-20年度 芳賀 裕 <small>ガバナー 事務局長 事務局 〒950-0001 新潟県新潟市中央区南1条1番 新潟県庁5CA501号室 TEL 025-243-4881 FAX 025-243-4984 E-mail: 02538@rotary.or.jp</small>														
2020年1月30日															
国際ロータリー第2610地区 ガバナー 松本 耕作 様	国際ロータリー第2530地区 地区幹事 安藤 正道														
<p>拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。</p> <p>この度は「台風19号被災支援」へ、心温まる義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。貴地区の温かい心遣いが被災した方々の、大きな励ましとなることと存じます。</p> <p>略儀ではございますが、書中を持ちましてお礼を申し上げますとともに、貴地区のより一層のご発展をお祈りいたします。</p> <p style="text-align: right;">敬具</p>															
送付：領収証 1枚															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">領収証 RID2610 松本耕作様 No. _____</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td style="text-align: center;">213,275円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内訳</td> <td style="text-align: center;">他 RID2530台風19号被災支援金として</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">現金</td> <td style="text-align: center;">2020年1月30日 上記正に領収いたしました</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小切手</td> <td style="text-align: center;">国際ロ-94-第2530地区</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">手形</td> <td style="text-align: center;">2019-20年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">送金振替(%)</td> <td style="text-align: center;">資金委員長 鍛冶 輝雄</td> </tr> </table>		領収証 RID2610 松本耕作様 No. _____		金額	213,275円	内訳	他 RID2530台風19号被災支援金として	現金	2020年1月30日 上記正に領収いたしました	小切手	国際ロ-94-第2530地区	手形	2019-20年度	送金振替(%)	資金委員長 鍛冶 輝雄
領収証 RID2610 松本耕作様 No. _____															
金額	213,275円														
内訳	他 RID2530台風19号被災支援金として														
現金	2020年1月30日 上記正に領収いたしました														
小切手	国際ロ-94-第2530地区														
手形	2019-20年度														
送金振替(%)	資金委員長 鍛冶 輝雄														

例会出席報告 (1月分)

2020年1月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減
富山第1分区	朝日部	75.00	46	74.04	49	23	23	0
	黒部中央	74.07	47	70.84	56	10	10	0
	入善	74.07	47	77.42	39	25	28	3
	宇奈月	79.17	39	72.61	50	6	6	0
	魚津	58.51	61	55.96	63	17	27	10
	魚津西	68.00	58	71.86	51	29	30	1
	7 R C	76.54	43	75.06	43	28	28	0
富山第2分区	越中八尾	72.19	9	71.11	9	138	152	14
	上山市	95.00	6	94.87	4	21	21	0
	立山	71.66	52	67.92	58	20	20	0
	富山	68.63	56	74.78	46	16	17	1
	富山シティー	74.04	49	68.11	57	101	101	0
	富山南	55.56	63	58.97	62	81	81	0
	富山みらい	66.37	60	64.13	61	56	58	2
	富山中	75.06	45	74.66	47	76	77	1
	富山西	84.59	26	82.68	27	59	56	-3
	富山大手町	92.94	9	93.18	6	61	64	3
富山第3分区	10 R C	69.52	55	74.96	45	54	50	-4
	射水	75.34	8	75.42	8	545	545	0
	東とみなみ	92.00	11	87.98	16	31	31	0
	新湊	88.33	15	84.22	22	18	15	-3
	新湊中央	83.49	30	81.30	35	45	42	-3
	高岡	80.00	37	76.68	41	14	13	-1
	高岡万葉	100.00	1	100.00	1	73	78	5
	砺波	95.92	5	95.35	3	64	64	0
	7 R C	91.33	12	86.05	19	52	52	0
	氷見	90.15	1	87.37	1	297	295	-2
富山第4分区	氷見中央	79.67	38	82.48	28	42	42	0
	南砺	53.33	64	49.11	64	15	15	0
	小矢部	86.07	22	88.51	15	45	49	4
	小矢部中	89.11	14	89.51	12	37	37	0
	高岡北	93.85	8	92.72	7	45	45	0
	高岡西	87.99	17	83.29	26	39	38	-1
	7 R C	100.00	1	100.00	1	50	47	-3
富山小計	84.29	3	83.66	3	273	273	0	
富山小計	80.49		79.39		1,253	1,265	12	

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減
石川第1分区A	河北	83.33	31	81.34	34	23	23	0
	河北南	70.83	53	71.84	52	26	26	0
	金沢	90.17	13	90.13	11	131	139	8
	金沢東	87.25	19	84.96	20	104	107	3
	金沢香林坊	80.65	36	82.32	29	114	117	3
	金沢南	87.73	18	86.35	17	58	58	0
	6 R C	83.33	5	82.82	4	456	470	14
	白山	72.52	51	71.06	54	36	37	1
	白山石川	82.26	33	78.89	37	35	34	-1
	金沢百万石	78.03	42	75.04	44	37	37	0
石川第1分区B	金沢北	84.90	25	76.43	42	44	43	-1
	金沢みなと	84.09	28	81.92	31	47	48	1
	金沢西市	86.33	21	84.15	23	51	51	0
	野々西	80.69	35	81.67	32	41	40	-1
	7 R C	81.26	6	78.45	7	291	290	-1
	加賀	94.25	7	91.63	9	62	64	2
	加賀中央	83.07	32	86.22	18	31	31	0
	加賀白山	81.90	34	88.54	14	25	29	4
	小松	75.89	44	78.84	38	53	53	0
	小松東	69.59	54	74.19	48	34	34	0
石川第2分区	小松シテイ	68.63	56	71.69	53	35	34	-1
	能美	84.14	27	89.03	13	54	52	-2
	山中	57.57	62	64.55	60	22	22	0
	8 R C	76.88	7	80.59	6	316	319	3
	羽咋	96.88	4	90.63	10	26	32	6
	中能登まほろば	78.43	41	81.51	33	17	17	0
	中能登まほろば	85.00	24	83.33	25	9	10	1
	七尾	78.90	40	79.03	36	48	47	-1
	七尾みなと	83.71	29	84.26	21	50	50	0
	志賀	85.96	23	77.08	40	17	19	2
石川第3分区	富来	86.53	20	70.86	55	14	15	1
	7 R C	85.06	2	80.96	5	181	190	9
	穴水	98.33	3	82.29	30	15	14	-1
	能都	73.08	50	83.64	24	40	41	1
	珠洲	92.19	10	92.57	8	18	18	0
	内浦	67.59	59	66.23	59	18	18	0
	輪島	88.33	15	93.93	5	28	30	2
	5 R C	83.90	4	83.73	2	119	121	2
	石川小計	82.08		81.31		1,363	1,390	27
	64RC合計	81.38		80.46		2,616	2,655	39

ハイライトよねやま 今月のトピックス

- ・新型コロナウイルスについて
- ・上海米山学友会の支援活動と総会
- ・寄付金速報 — 1月の寄付は好調 —
- ・ホームカミング制度で米山学友を招待
- ・米山学友が新クラブを設立

※ぜひ PDF 版もご覧ください。

PC から →

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight239_pdf.pdf

スマホから →

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/blog/news/2020/detail_17607.html

3・4月行事予定

3月 <水と衛生月間>			
14日	(土)	第2回ガバナー補佐会議	金沢ニューグランドホテル 13:30～
15日	(日)	第3回次期ガバナー補佐会議	ホテルニューオオタニ高岡 10:00～11:30
15日	(日)	会長エレクト研修セミナー (PETS)	ホテルニューオオタニ高岡 13:30～
22日	(日)	石川第4分区 IM (ホスト:能都 RC)	能登うしつ荘 10:30～
4月 <母子の健康月間>			
7日	(火)	第3回ガバナー会議	ホテルグランドパレス (九段下) 12:00～15:00
11日	(土)	第4回ロータリー財団委員会・補助金審査委員会	石川県地場産業振興センター 10:30～15:30
11日	(土)	ロータリー財団委員会 懇親会	金城楼 17:30～19:30
12日	(日)	小松ロータリークラブ創立45周年記念例会	アパホテル〈小松グランド〉 11:00～
12日	(日)	第3回地区危機管理委員会	リファーレ 4階 13:30～16:00
15日	(水)	加賀中央 RC 創立40周年記念式典	長生殿 15:00式典～18:00
18日	(土)	2020 学年度米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション・懇親会	未定 15:00～19:30
19日	(日)	地区研修・協議会	富山県高岡文化ホール
25日	(土)	第8回全国インターアクト研究会・懇親会	山形テルサ・ホテルキャッスル 13:00～20:00
25日	(土)	第3回ロータリーアクト会長幹事会議・エレクト会議	石川県地場産業センター

予定が変更される場合がございます。予めご了承ください。

R 財団寄付者

- メジャードナー —————
- 野々市 柳生 好春 1月24日
- ベネファクター —————
- 新湊中央 山本 孝信 12月18日
- 使途指定寄付 —————
- 越中八尾 年次 1月17日
- マルチプル・ボール・ハリス・フェロー —————
- 越中八尾 田島 広志 1月21日 2回
 富山 山田 岩男 12月27日 1回
 射水 上田 雅裕 1月20日 2回
 加賀中央 橋本 勝寿 1月30日 1回
 加賀中央 小谷美穂子 1月30日 3回
 加賀中央 村口 誠志 1月30日 3回
 加賀中央 矢敷 勇 1月30日 3回
 七尾みなと 井田 松円 12月25日 1回
- ボール・ハリス・フェロー —————
- 富山 高木 繁雄 12月27日

- 富山 森藤 正浩 12月27日
 富山 森口寿志高 12月27日
 富山 三由 昌成 12月27日
 新湊中央 井波 哲雄 12月5日

R 米山記念奨学会寄付者

- 米山功労者 メジャードナー —
- 白山石川 福田 裕 1月10日 35回
- 米山功労者 マルチプル —
- 加賀中央 前山 智 1月30日 4回
- 米山功労者 —————
- 金沢東 北 総一朗 1月31日 1回
 金沢東 湊 康久 1月31日 1回
 金沢西 中川 修一 1月23日 1回

米山功労法人

- 特別寄附 —————
- 新湊中央 備山本建成工業 山本 孝信 12月18日

会員異動

- 《 入会 》
- 黒部中央 小澤 正和 1月23日
 魚津 岡本 純一 1月10日
 金沢北 北川 和夫 1月6日
 金沢西 櫛野 孝史 1月31日
 小松東 吉田 雅江 1月7日
 富来 上江 哲夫 1月3日
 富来 岡本 明希 1月5日
 珠洲 平蔵 豊志 1月8日
 内浦 草山 和人 1月9日
- 《 退会 》
- 富山みらい 中井 康博 1月7日
 東となみ 三谷貴志夫 1月31日
 高岡北 新森慎之助 1月31日
 高岡西 北村太久磨 1月14日
 河北 伊藤 勇人 1月31日
 金沢東 鎌木 基由 1月10日
 金沢香林坊 宝達 伸也 1月8日
 加賀中央 田辺 智美 1月31日
 小松東 宮本 弘幸 1月31日

ご冥福をお祈りいたします



井上 正雄 会員
 金沢百万石RC
 2020.1.23(享年63歳)
 井上クリニック・院長
 ロータリー歴4年
 2018-19年度幹事



矢敷 勇 会員
 加賀中央RC
 2020.2.7(享年78歳)
 (前)矢敷電工代表取締役
 ロータリー歴31年

1989年1月11日 加賀中央RC入会
 2006-07年度地区米山寄付増進小委員会委員
 2007-08年度会長
 MPH3回・米山功労者4回

表紙の写真

木場潟からみる白山

白山(はくさん)は、石川県白山市と岐阜県大野郡白川村にまたがる標高2,702mの活火山です。富士山、立山と共に日本三霊山の一つでもあります。日本百名山、新日本百名山、花の百名山および新・花の百名山にも選ばれています。白山は北陸地方の中では標高の高い山であるため、他の山

では残雪が消えた季節でも「白い山」として遠方からでも一目で判明する山であり、かつては『越白嶺』と書いて『このしらね』と呼ばれ、その名残が現在の白山周辺の地名「白峰」として残っておりその後、『白山』と書いて『しらやま』と読む時期を経て、現在の呼称となっています。



ガバナー月信担当 地区副幹事 吉田 克也(金沢RC)